

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・事業所の 特徴	日の出医療福祉グループとして、住み慣れたご自宅・地域での生活のため、お客様一人ひとりに合わせたサービス提供に努めています。また、お客様や家族様の要望に柔軟に対応するとともに、残存機能の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	ゆとり庵福田	管理者	中村一男		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・全職員が統一した支援が行えるようにする。 ・利用者様と関わる時間を増やし、利用者様の生活スタイルや今までの習慣、生き甲斐、一日の過ごし方等をより深く知る。	利用者様の生活歴や環境等の情報収集に努めたが、すべての利用者様の情報収集はできなかった。また限られた職員だけしか、その意識を持つことができていなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	職員全員が、すべての利用者様に対して統一した支援が行えるように、情報収集と共有を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染症対策を徹底し、安心して利用していただけの環境作りに努める。	感染症対策の徹底に努めていたが、クラスターが発生してしまった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	感染症対策の徹底を継続し、安心して利用してもらえる環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナウイルスに配慮し、新しい生活様式に合った方法で地域との関りが持てるよう取り組む。	地域との関りが持てるよう取り組んだが、新型コロナウイルスのため、十分な関りは持てなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	新型コロナウイルスとの関りを考慮しながら、地域との関係性を構築する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の行事などが開催されなくなっている中でどのような取組みが行えるか検討する。	馴染みの店舗の利用等、可能な限り地域社会との関りを持てるよう支援した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	地域社会との関りを意識した支援を行えるよう取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・コロナウイルスに配慮し、運営推進会議が開催できるよう開催方法も含め検討する。	場所や時間の制約から、運営推進会議は書面交付のみとなっている。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	運営推進会議が開催できるように時間や場所、方法を検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	・非常災害対策計画を職員と共有し、備蓄品の確認を行う。	BCP計画の周知徹底はできていないが、防災グッズの準備は行っている。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価は未実施。	BCP計画の周知徹底を行い、非常時に備えてシミュレーションを行う。